

YBHD NEWS No.47

株主通信

平成28年8月



つなぐ、むすぶ、広げる、未来へ

The Next Perspective



株式会社 横河ブリッジホールディングス

証券コード：5911



代表取締役社長

荒井 久司

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、株主通信「YBHD NEWS」第47号をお届けいたします。

我が国経済につきましては、雇用や所得環境の改善が続く、緩やかな回復基調となっておりますが、個人消費が伸び悩むなど本格的な景気回復には未だ至っておりません。また、イギリスのEU離脱問題や不安定な国際情勢によるリスクが高まり、先行き不透明な状況が続いております。

こうした中、7月には18歳まで投票権が拡大されました初の国政選挙であります参議院選挙が行われ与党が過半数を獲得し、8月に第3次安倍内閣が発足いたしました。現政権には、この支持基盤を活かし、経済成長の勢いが弱くデフレも根強く残っております日本経済をアベノミクスにより持続的成長へつなげることが期待されます。

建設業界につきましては、新たにリニア中央新幹線の計画前倒しを含みます28兆円規模の経済対策が策定されました他、今後も東京オリンピック開催に向けた首都圏を中心とするインフラ需要が継続するものと思われれます。

しかしながら、当社グループの中核事業であります新設橋梁の発注量は横ばいか減少傾向にありますため、今後は新設橋梁事業と橋梁保全事業を一体としまして橋梁事業全体での事業拡大を目指してまいります。また、システム建築事業や鋼製トンネルセグメント等のエンジニアリング関連事業を更に成長させ、グループ経営の安定と発展に努めてまいります。

また、新名神高速道路建設現場での事故につきましては落下した橋桁の撤去が一部完了し、国道176号の通行止めが7月9日に解除されました。今後も安全に一層配慮し、事故の収束に向けた努力を続けてまいります。

役員・従業員一同、株主の皆様のご期待に応えられますよう事業に取り組んでまいりますので、引き続き倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年8月

平成28年7月27日に、平成29年3月期第1四半期(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで)の決算短信を公表いたしましたので、その概況につきましてご紹介いたします。

連結経営成績(累計)

	平成29年3月期第1四半期	平成28年3月期第1四半期
売上高	23,657 百万円	24,871 百万円
営業利益	836 百万円	790 百万円
経常利益	922 百万円	888 百万円
親会社株主に帰属する四半期純利益	515 百万円	706 百万円

【連結経営成績に関する定性的情報】

当社グループの当第1四半期の受注高は、209億3千万円(前年同期比9.4%減)となり、第1四半期としては過去2番目に高い水準となりました。

セグメント別の受注高は、橋梁事業103億9千万円(同26.3%減)、エンジニアリング関連事業94億5千万円(同11.7%増)、先端技術事業10億8千万円(同96.1%増)となりました。

決算面につきましては、売上高は236億5千万円(同4.9%減)、営業利益は8億3千万円(同5.7%増)、経常利益は9億2千万円(同3.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億1千万円(同27.0%減)となりました。

セグメント別の売上高は、橋梁事業の売上高は本年4月に発生いたしました新名神高速道路建設現場での事故の直接的・間

接的影響により伸び悩み、126億6千万円(同25.9%減)となりました。損益につきましても同様で、営業利益は5千万円(同88.0%減)にとどまりました。引き続き事故対応に注力してまいります。第2四半期以降、徐々にこの遅れを取り戻してまいります。

エンジニアリング関連事業の売上高は、システム建築事業に加え土木関連事業が大きく伸びましたため、前年同期を上回り100億円(同41.1%増)となりました。営業利益も8億4千万円(同85.2%増)となりましたため、橋梁事業の落ち込みを補う形となりました。

先端技術事業の売上高は精密機器製造事業の好調な受注により7億9千万円(同60.1%増)、営業利益は1億3千万円(同221.9%増)の増収増益となりました。

平成29年3月期の連結業績予想

	第2四半期連結累計期間 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)	通期 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)
売上高	57,000 百万円	115,000 百万円
営業利益	3,200 百万円	6,700 百万円
経常利益	3,250 百万円	6,800 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-
1株当たり当期純利益	-	-

【連結業績予想に関する将来予測情報】

平成29年3月期第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、前回(平成28年5月13日付)公表いたしました予想値から変更はありません。

なお、連結業績予想のうち親会社株主に帰属する当期純利益および1株当たり当期純利益については、現時点において適切な予想値を算出することは困難な状況でありますため、未定としております。

グループ会社新社長の紹介

株式会社横河システム建築
代表取締役社長 おおしま 大島 てるひこ 輝彦

○就任の抱負

当社は、平成元年に株式会社横河橋梁製作所(現・株式会社横河ブリッジ)の橋梁、鉄骨に次ぐ第3の事業部『システム建築事業部』として産声を上げ、その後平成13年8月に株式会社横河システム建築として独立いたしました。

以来、新しい建築スタイルでありますシステム建築を中核事業とし、事業開始から全国に約7,500棟の建物を手がけてまいりました。おかげさまで昨年度は500棟という販売実績を達成し、工場・倉庫・店舗・事務所・スポーツ施設・最終処分場など多くの用途でご利用いただいています。今後もこれまでに培ってききました設計・製作・現場施工の技術を発展させて、お客様のニーズにあった『良質で低コスト・短納期を実現した商品』を提供してまいります。

○今後の事業展開

横河システム建築ブランドの『yess建築』は、全国780社の販売施工代理店(ビルダー)様を通して全国のお客様に提供させていただいている商品です。

今後もこの販売網を強化すると共に、営業戦略の一環として立ち上げていますホームページ『yessビルダーズネット』の充実を図り、サービスの向上に努めてまいります。

システム建築業界はまだ若い業界ですが、今まで築き上げてきましたNo.1の地位を揺るぎないものにし、建築業界においてシステム建築が標準となっていくような進化を遂げてまいります。

また当社は、屋根・大きな扉を開閉する技術を持ち、太陽光発電システムを長年手がけていますので、『yess建築』と同様に事業の拡大に努めてまいります。



当社新任取締役の紹介

取締役 経理部長 みやもと 宮本 ひでのり 英典

(生年月日)

昭和37年2月23日生

(略 歴)

昭和59年 4月 当社入社
平成19年10月 経理部部长
21年 6月 経理部部长
24年10月 理事経理部部长
28年 6月 当社取締役
経理部部长就任
現在に至る。



社外取締役 かめい 亀井 やすのり 泰憲

(生年月日)

昭和27年9月5日生

(略 歴)

昭和50年 4月 三菱レイヨン株式会社入社
平成17年 6月 同社執行役員
機能樹脂事業部長
20年 4月 同社執行役員
人事部長
22年 6月 同社執行役員
ダイヤニトリックス株式会社
代表取締役社長
25年 4月 三菱レイヨン株式会社執行役員
ANブロック担当
27年 4月 同社顧問
28年 3月 同社退社
28年 6月 当社社外取締役就任
現在に至る。



Topics 1 陸前高田ベルトコンベア用吊橋解体工事

株式会社横河ブリッジより、陸前高田ベルトコンベア用吊橋解体工事についてご紹介いたします。

工事名称:陸前高田市震災復興事業
工 期:平成28年4月1日~10月31日
発 注 者:独立行政法人都市再生機構
客 先:清水・西松・青木あすなろ・オリエンタルコンサルタンツ・国際航業JV
工事内容:ベルトコンベア用吊橋の撤去
所 在 地:岩手県陸前高田市気仙町

本工事は、東日本大震災により大きな被害を受けた陸前高田市の街を高上げる震災復興事業の一部となります。

街を高上げるために、山を切り崩し、通常ダンプトラックで盛土材の運搬を行うところを、山の麓に破砕機を設置し、吊橋上に設置したベルトコンベアで、整備区画への運搬を行い、土砂運搬の工期を短縮する工法を採用し、平成27年9月に約500万m³の搬送が完了しました。

当社は本工区河川上の吊橋の架設を、平成25年8月~平成26年2月にケーブルクレーン工法にて施工しました。現在、土砂の搬送完了に伴い、コンベア設備の撤去作業を開始し、その最後の作業が吊橋の撤去となっており、大きな注目を浴びています。架設時は当社の保有の鉄塔を使用したケーブルクレーン工法で行いましたが、今回の撤去工事では既設の主塔を改造し、ケーブルクレーンを設置し撤去を行うこととしました。

今年の4月から施工を開始し、5月にセンターケーブルクレーンにて吊橋上のベルトコンベア架台を撤去、6月にキャットウォーク、サイドケーブルクレーンの組立、7月に補剛桁撤去、そして8月のメインケーブル撤去、9月の主塔撤去となり、10月中旬頃を工事完了の目標として施工中です。



平成26年1月 架設時吊橋全景



平成28年5月 ベルトコンベア架台撤去の様子



平成28年7月 補剛桁撤去の様子

Topics ② 地元住民のみなさんの安全な通勤・通学のために ～にこここ長田歩道橋～

株式会社横河住金ブリッジが歩道橋の建設を通じて、地元住民のみなさんの通勤・通学の安全確保に貢献いたしましたのでご紹介いたします。

工事名称: 蛇池横断歩道橋上部工事
 工期: 平成27年6月16日～平成28年3月18日
 発注者: 茨城県
 構造、規模: 横断歩道橋、支間長31m、跨道部(桁高1.2m、幅2m)
 鋼重: 45t
 所在地: 茨城県猿島郡境町蛇池



歩道橋全景

本工事は、茨城県境工事事務所発注の国道354号バイパスを跨ぐ横断歩道橋新設工事です。圏央道境古河IC開通に伴い国道354号の交通量が増大することが予想され、通勤・通学の安全確保を求める地元住民の方々からの声により実現しました。

建設が地元からの要望ということもあり、橋名は「にこここ長田歩道橋」と決定し、色合いはベージュ系と地元の意見が採用されました。

近くには境町立長田小学校があり、児童の通学路となっていることから、工事中は進捗状況に合わせて児童が作業員に「いつになったら出来上がるの」と可愛い質問を投げかけることもありました。

完成後のお披露目式が、茨城県境工事事務所主催で催され、式には長田小学校五年、六年生の児童90名、境町長、町議会、教育委員会等の方々が出席され、歩道橋の上で記念撮影を行いました。子供たちのニコニコした素敵な笑顔が印象的な歩道橋です。



「にこここ長田歩道橋」で記念撮影

Topics ③ ハイコムウォーター(株)南阿蘇村工場増築工事

株式会社横河システム建築より、ハイコムウォーター株式会社南阿蘇村工場増築工事についてご紹介いたします。

工事名称: ハイコムウォーター(株)南阿蘇村工場増築工事
 建物概要: 建築面積 1,383㎡
 建物幅 24.0m×建物長さ49.2m 軒高14m
 所在地: 熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字河陰字見瀬ノ西3032番



建物全景

本工事は、熊本県北西部阿蘇山の麓にある南阿蘇村の閑静な田園風景が周囲に広がる場所に建設されたyess建築であり、平成26年の第1期工事に続く第2期増築工事となります。

お施主様はミネラルウォーターの製造、宅配事業を行っている会社でございます。

建物の特徴として、倉庫エリアに配置する自動ラックの有効高さを12.9m確保したいとお施主様から要望があったことから、平屋で軒高14mもの高さ(4階建の建屋相当)を確保し、軒高6.3mの第1期工事の既存建屋に接続していることが挙げられます。

今年1月から着工し、現場での建設は順調に行われておりましたが、4月に起きた熊本地震の際はちょうど外壁が張り終わった頃で、側足場が取り外されておらず、外壁を損傷する被害を受けてしまいました。幸い主構造体に影響がなかったため、外壁を取り換えるだけで復旧することが可能となり、無事5月にお施主様への引き渡しを完了いたしました。

yess建築は地震に強く、すでに使用されている第1期工事の建屋に損傷はありませんでした。しかし、お施主様は停電などで2週間の操業停止になられたとのこと。その間、無事に建屋内にストックされていたミネラルウォーターを災害支援物資として、避難所に届けられていたそうです。



周囲を豊かな緑に囲まれる

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金 交付株主確定日	毎年3月31日、なお、中間配当を行う場合は、 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 〒100-8233 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他 やむを得ない事由によって電子公告による公 告をすることができない場合は、日本経済新 聞に掲載して行います。
公告掲載URL	http://www.ybhd.co.jp/

YBHDグループ



株式会社 横河ブリッジホールディングス
グループ全体の経営管理



株式会社 横河ブリッジ
橋梁・橋梁関連製品・土木・建築・保全・精密機器製造



株式会社 横河システム建築
システム建築・開閉式建築システム・環境



株式会社 横河住金ブリッジ
橋梁・橋梁関連製品・セグメント



株式会社 榑崎製作所
橋梁・水処理・環境製品・鉄構製品



株式会社 横河技術情報
情報処理サービス・ソフトウェア開発



株式会社 横河ニューライフ
不動産管理・情報システム・人材派遣



株式会社 ワイシーイー
橋梁等構造物の総合エンジニアリング

表紙の写真

新東名高速道路 大井川橋

所在地:静岡県島田市相賀～牛尾

構造形式:6径間連続箱桁橋 橋長:704m 鋼重:約11,500t

本橋は、桁高が緩やかに変化したリズム感のある美しい形状と、周囲の景観に溶け込む若草色が特徴的な国内最大級の箱桁です。

船が遡上する大井川の環境に配慮し、最大中央支間長127mをベント設置することなく、手延べ機を用いた送り出し工法で架設しました。(国内最長送り出しスパン)



株式会社 横河ブリッジホールディングス

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目4番44号 TEL. 03-3453-4111(代表)

<http://www.ybhd.co.jp/>

